

授業と評価の年間計画

教科	保健体育	科目	保健	
履修条件 対象生徒	必修 普通科 2年			
学習目標	(1) 日常的にスポーツに親しむなど、生涯体育の実践を目指して、積極的に運動とかかわるために必要な能力や態度を身に付ける。 (2) 体力の向上を目指し、仲間と協力し、助け合いながら心身を鍛える。 (3) 健康・安全に関する基礎的な知識を習得し、より健康的な生活を送るための実践力を育てる。			
学習方法	【授業】 教科書「現代高等保健体育（大修館）」の内容を中心に授業を行う。視聴覚機器の活用や調べ学習、ロールプレイング、ディベート他、主体的な学習態度が求められる。 【補習・その他】 授業で使用した資料（プリント等）は各自でファイリングするなど保管しておくこと。ノートは授業担当者の指示で提出できるようにまとめておく。			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末考査まで ア 思春期と健康 イ 性意識と性行動の選択 ウ 結婚生活と健康 エ 妊娠・出産と健康 オ 家族計画と人工妊娠中絶 カ 加齢と健康		<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の健康について理解する。 ・男女の性差を考え、性意識と性行動の選択について理解する。 ・結婚生活にかかわる健康問題について理解する。 ・妊娠・出産の健康について理解する。 ・加齢による健康問題について理解する。 	
	2 2学期 (1) 期末考査まで ア 高齢者のための社会的とりくみ イ 保健制度とその活用 ウ 医療制度とその活用 エ 医薬品と健康 オ さまざまな保健活動や対策 カ 大気汚染と健康 キ 水質汚濁・土壌汚染と健康 ク 健康被害の防止と環境対策		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のための社会的取り組みについて理解する。 ・保健制度や保健サービスの実際、医療制度や、その問題点について考える。 ・医療サービスの活用について考える。 ・過去及び現代の環境にかかわる問題についての知識を深め、生活の中で環境問題を解決する方法を考える。 ・様々な環境対策を理解する。 	
	3 3学期 (1) 学年末考査まで ア 環境衛生活動のしくみと働き イ 食品衛生活動のしくみと働き ウ 食品と環境の保健と私たち エ 働くことと健康 オ 労働災害と健康 カ 健康的な職業生活		<ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生活動について理解する。 ・食品衛生活動について知識を深め、食品をめぐる様々な問題について考える。 ・食品や環境の保健について理解する。 ・職場での健康問題・課題についての知識を深め、健康的な職業生活を送るための方法を理解する。 	
評価規準	知識・理解	運動の技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について、課題解決に必要な基礎的事項を理解している。	/	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを的確に表現できる。	個人生活及び社会生活における健康の保持増進や、安全への配慮について関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。
評価方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3つの観点について授業態度、レポート作成、ノート整理、実習、定期考査を参考に総合的に判断して評価する。			
その他				